



碧南市は
認知症になりにくい市町村
全国ベスト3

認知症とは、主に成人後期に病的な慢性の知能低下が起きる病気です。いわゆる物忘れや徘徊などの行動を伴います。主な原因は脳梗塞などの脳血管系の病気やアルツハイマー病（脳細胞が縮み、ひどい物忘れや場所・日時認識の欠落などの症状があり、ドイツの精神医アルツハイマーに由来）、慢性のアルコール依存症などであると言われています。

厚生労働省は、日本の認知症患者数は2012年時点で約462万人、65歳以上の約7人に1人、今後団塊の世代が75歳以上となる2025年には700万人前後に達し、65歳以上の約5人に1人を占めると推計しています。

一般的な認知症予防としては、①

バランスのとれた食生活を心がける、
②定期的な運動（毎日30分程度のウォーキングなど）、③人と積極的な付き合いをする、④新聞を読むなど知的な行動を意識した生活をする、
⑤6〜8時間程度の睡眠をしっかりとるなどがあります。

この度「日本老年学的評価研究」という、大学教授を中心とする皆さんが2013年10月1日〜12月2日にかけて、要介護認定を受けていない65歳以上の人を対象に、北は北海道から南は九州まで30自治体19万5千人に調査票を送付し、13万8千300人から回答（回収率71%）を得て、その調査結果を発表しました。

調査項目は、①身体状況・機能状態―罹患、保健行動、BMI値、転倒状況、②心理―うつ、幸福度、③社会―ソーシャルネットワーク、ソーシャルサポート、④社会経済的地位―年間世帯所得、世帯人数、教育職業（最長在職）、年金、生活保護、⑤会・グループへの参加―ボランティア、スポーツ、町内会、趣味、⑥地域環境―地域に対する信頼、治安祭り、近所づきあい、⑦外出―外出頻度、交通手段など多岐に渡っています。

その調査結果では、碧南市は認知症になりにくい市町村ということで、「全国24市町村中第3位」という好成績でした。市民の皆様、この結果を励みに、毎日を健やかに過ごせるよう、皆で努力しましょう。

消防団協力事業所表示制度

問合せ 防災課地域防災係

協力事業所（平成28年10月1日現在、50音順）

アイシン辰栄(株)、アイシン精機(株)新川工場、愛知県中央信用組合、あいち中央農業協同組合、旭鉄工(株)、石川铸造(株)、(株)石実メッキ工業所、石橋建設興業(株)、(株)磯貝製作所、(有)いそ忠、永代屋仏壇店、(株)エイプラン、(株)尾崎工務店、(株)オサダツール、(株)梶川建設、(有)片山内装、(株)キヌウラテクノ、木村建設(株)、小林哲三事務所、(株)サカン元建設、(資)さし又木工所、三和(株)、(株)ジェネックス、敷島製パン(株)刈谷工場、(資)下幾商店、杉浦板金、スギ製菓(株)、(株)スズキオート広常、(株)大六建設、中庸スプリング(株)、(株)東栄社、(株)豊田自動織機碧南工場、トヨタ車体精工(株)、日進工業(株)、日新製鋼(株)衣浦製造所、日本郵便(株)碧南郵便局、幡豆工業(株)、(株)長谷基業、原田オート、(株)ビジネスセンター岬屋、(株)平岩鉄工所、(株)平松木型製作所、(有)ふじもと介護サービス、(株)ホライズン、丸共通運(株)、丸八重整備(株)、(有)マルヒコ土木、森田建築、山田建築、ライブラリーカーキンバラ、(有)わた甚

地域防災の要である消防団の活性化には、団員が活動しやすい環境が必要であり、事業所の理解と協力が不可欠です。

市では、従業員が消防団に入団している事業所や消防団の活動に配慮している事業所に「消防団協力事業所表示証」を交付しています。

平成28年度は、33事業所に交付しました。平成27年度に認定した事業所を含めると、51事業所を消防団協力事業所として認定しています。消防団活動へのご理解、ご協力ありがとうございます。

